

認知症に関する活動計画（概要）

徳島県作業療法士会では、認知症支援推進委員会を設置し、活動を行っている。主な活動としては、当士会で作成した介護予防ツール“ラシーサカード”を普及するため、サロンへの訪問や、研修会などを開催している。また、会員に対しては、認知症研修の他、認知症OTカフェを開催し、会員の日頃の悩みなどを聞く機会を設けている。

地域向け事業

昨年より、県南の中心地である人口第2位の阿南市と協力し、市内の全てのサロンにラシーサカードを配布している。要請に応じて講師を派遣し、ラシーサカードの目的や使い方などを、住民に伝えている。

また、人口第3位である鳴門市においても、イベントにてブースを開設し、住民の方や市の担当職員に、実際にラシーサカードを手にとってもらう機会を得た。それをきっかけに、鳴門市内においても、研修の開催、サロンへの配布に至った。

その他、他の市町村から講師依頼もあり、地域に携わっている専門職にラシーサカードを通して、作業療法士の考える介護予防の考え方を話させていただいた。

会員向け事業

会員向けには、“人間作業モデルで捉える認知症の人の診かた”と題した認知症研修をオンラインにて実施した。

“ラシーサカード”の使用研修も実施し、作業療法士として地域で活躍できる人材育成を図った。

また、認知症OTカフェと題し、臨床における悩みや思いなどを作業療法士同士で話し合った。また、同時に事例検討会も実施し、臨床で役立つアプローチや、工夫することなど教え合う機会となった。

今後の展開

昨年に引き続き、各地域のサロンなどから、ラシーサカードの研修依頼を頂いている。地域での活動は、積極的に行う予定である。

ラシーサカードの使用研修について、昨年度までは県内の会員のみを対象としていたが、今年度より、他の県士会からも参加できるように準備している。

また、新しい事業として、SNSを利用して、情報発信を行う予定である。



サロンでの研修の様子



イベントでのブース開設



認知症研修の様子